



報道関係者各位  
プレスリリース

2021年3月26日  
Sanpellegrino S.p.A.

## サンペレグリノ&アクアパンナが公式スポンサーを務める 2021年度「アジアのベストレストラン50」が発表され、 日本から9つのレストランが選出されました



世界中の美食家に愛されている、イタリア生まれのファインダイニングウォーター「サンペレグリノ」を世界150カ国以上に輸出しているサンペレグリノ社（本社：イタリア・ミラノ、CEO：フェデリコ・サルツィブラガ／ネスレグループ）が公式スポンサーを務める2021年度「アジアのベストレストラン50」のレストランリストが2021年3月25日、バーチャルセレモニーにて発表されました。The Chairmanが香港から初めて一位の座に輝き、日本からは9つのレストランが選出されました。

<一位に輝いた香港のレストラン「The Chairman」>

「The Chairman」は、香港のレストランとして初めて「アジアのベストレストラン50」で第一位を獲得しました。2009年にオープンした「The Chairman」は、素材を生かした広東料理と、本物の味へのこだわりが知られています。2013年に「アジアのベストレストラン50」が初開催されて以来、毎年選出されており、2019年の「世界のベストレストラン50」でも初登場、第41位にランクインしました。

### <選出された日本のレストラン>

本年度の「アジアのベストレストラン50」からは、日本から9つのレストランがランクインしました。3位の「傳」は4年連続で「日本のベストレストラン」アワードを受賞し、「Florilège」は7位、「Narisawa」は9位と、それぞれ昨年と同じくトップ10を維持しました。また、東京の「L'Effervescence」は、昨年度は29位でしたが本年度は19位にランクアップし、今年の「Beronia Highest Climber」アワードを受賞しました。そのほか、「La Cime」(8位)、「茶禪華」(12位)、「Ode」(27位)、「La Maison de la Nature Goh」(30位)、「日本料理 龍吟」(35位)など、日本の人気レストランがが續々と選出されています。

### <「アジアのベストレストラン50」コンテンツ・ディレクター、ウィリアム・ドリューよりコメント>

昨年は、新型コロナウイルスの影響によりレストラン業界がこれまでにない厳しい状況に直面しました。このような時期に、私たちは、クリエイティブな才能をもったアジアのシェフを紹介し、業界のパイオニアを称え、優れた料理を表彰することにより、レストラン業界の復興を支援できることを誇りに思います。今年の「アジアのベストレストラン50」の発表に合わせて、51位から100位までのレストランのリストを拡充するとともに、「エッセンス・オブ・アジア」コレクションを発表しました。地元のシェフたちを称えることで、これまで以上に多くのレストランにスポットライトを当てることを目的とした取り組みです。

### <2021年度「アジアのベストレストラン50」:レストランリスト>

- 1位: The Chairman(香港)
- 2位: Odette(シンガポール)
- 3位: 傳(東京、日本)
- 4位: Le Du(バンコク、タイ)
- 5位: Gaggan Anand(バンコク、タイ)
- 6位: Suhring Bangkok(バンコク、タイ)
- 7位: Florilege(東京、日本)
- 8位: La Cime(大阪、日本)
- 9位: Narisawa(東京、日本)
- 10位: Mingles(ソウル、韓国)
- 11位: Sorn(バンコク、タイ)
- 12位: 茶禪華(東京、日本)
- 13位: Les Amis(シンガポール)
- 14位: Burnt Ends(シンガポール)
- 15位: Mume(台北、台湾)
- 16位: Veal(香港)
- 17位: Neighborhood(香港)
- 18位: Indian Accent(ニューデリー、インド)
- 19位: L'Effervescence(東京、日本)
- 20位: Nusara(バンコク、タイ)
- 21位: Raw(台北、台湾)

- 22位: Fu He Hui(上海、中国)
- 23位: Zen(シンガポール)
- 24位: Logy(台北、台湾)
- 25位: Belon(香港)
- 26位: JL Studio(台中、台湾)
- 27位: Ode(東京、日本)
- 28位: Caprice(香港)
- 29位: Ministry of Crab(コロンボ、スリランカ)
- 30位: La Maison de la Nature Goh(福岡、日本)
- 31位: Cloudstreet(シンガポール)
- 32位: Masque(ムンバイ、インド)
- 33位: 8 1/2 Otto e Mezzo Bombana(香港)
- 34位: 7th Door(ソウル、韓国)
- 35位: 日本料理 龍吟(東京、日本)
- 36位: Born & Bred(ソウル、韓国)
- 37位: Amber(香港)
- 38位: Ta Vie(香港)
- 39位: Anan Saigon(ホーチミン、ベトナム)
- 40位: Labyrinth(シンガポール)
- 41位: Euphoria(シンガポール)
- 42位: Jaan by Kirk Westaway(シンガポール)
- 43位: Hansikgonggan(ソウル、韓国)
- 44位: Mono(香港)
- 45位: Shoun RyuGin(台北、台湾)
- 46位: Gaa(バンコク、タイ)
- 47位: Lung King Heen(香港)
- 48位: Seventh Son(香港)
- 49位: Toyo Eatery(マニラ、フィリピン)
- 50位: Wing Lei Palace(マカオ)

#### ■「アジアのベストレストラン50」について

毎年発表されている「アジアのベストレストラン50」は、「アジアのベストレストラン50アカデミー」の投票により決定されます。フードライターや評論家、シェフ、レストラン経営者、地域の料理専門家など300人以上のリーダーが、男女のバランスが50対50で構成されています。今年の投票では、旅行の機会が制限されていることを考慮し、ローカルレストランでの食体験をより重視するよう調整いたしました。

「アジアのベストレストラン50」は、プロフェッショナルサービスのコンサルタント会社であるデロイトを公式な独立審査パートナーとして迎え、投票プロセスと結果の整合性と信頼性を守っています。

「アジアのベストレストラン50」の投票プロセスの詳細については下記URLよりご確認ください。

<https://www.theworlds50best.com/asia/en/voting/the-voting-system>

■「サンペレグリーノ」と「アクアパンナ」について

イタリア・ミラノを拠点とするサンペレグリーノ社(ネスレグループ)の国際登録商標。世界150カ国以上で販売されている本製品は、イタリアブランドの品質の高さを象徴しており、イタリア流の上質な暮らしがもたらす喜びや、健康やかなライフスタイルを体現しています。また、「ミシュランガイド東京 2019」や「ミシュランガイド京都・大阪 2019」をはじめ、トップレベルのシェフが集う国際的なイベントを公式ミネラルウォーターとしてサポートし、ファイナディングとプレミアムホスピタリティーの象徴として世界中で認知されています。同社は1899年に設立され、ミネラルウォーター、ノンアルコール・アペリティブ、清涼飲料水、アイスティーを製造しています。また、イタリアの大手飲料メーカーとして、水という大切な天然資源の保護にも尽力し、将来の水資源を守るための活動にも真摯に取り組み、責任を持って事業活動を行なっています。

<https://www.sanpellegrino.com/jp/jp>

プレスリリースに関するお問い合わせ先

サンペレグリーノ&アクアパンナ PR 事務局(SivanS 株式会社内) 担当: 下村・トリーネ

東京都港区北青山 3-3-5 東京建物青山ビル 3F

TEL : 03-6812-9495 / FAX : 03-6812-9498 /E-Mail: sanpellegrino@sivans.jp